



平成 18 年度前期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

物質構造科学研究所副所長 松下 正

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて 1～2 日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間 6 件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

記

1. 開催期間 平成 18 年 4 月～平成 18 年 9 月
2. 応募締切日 平成 17 年 12 月 16 日（金）
〔年 2 回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4 判、様式任意）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名
4. 応募書類送付先
〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所事務室
TEL： 029-864-5635

* 封筒の表に「フォトン・ファクトリー研究会応募」と朱書のこと。

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当り上限 50 万円程度）。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

物質構造科学専攻 5 年一貫制博士課程学生 二次募集の御知らせと御願い

総研大物質構造科学副専攻長 那須奎一郎

総研大物質構造科学専攻（旧放射光科学専攻、旧加速器科学専攻）は、博士後期課程のみを擁する大学院大学として、昭和 63 年 10 月に開学し、以来、今日まで、共同利用機関と云う研究の現場において直接若手研究者を養成するという目的のもと、鋭意、教育活動を行って参りましたが、平成 18 年 4 月より 5 年一貫制博士課程に移行いたします。

付きましては、この 5 年一貫制博士課程へ受験される学生を募集いたします。大変僭越では御座いますが、関係される先生方には、該当する学部学生諸氏に、是非、その旨御知らせ頂きますようお願い申し上げます。

出願期間： 平成 17 年 12 月 16 日～12 月 22 日

選抜試験： 平成 18 年 1 月 16 日から 1 月 18 日までの
1 日間、面接と口頭試問による試験、

総研大物質構造科学専攻の設置趣旨と概要

本専攻は、放射光、中性子、ミュオン等、粒子加速器から発生する量子ビームを用いて行う物質構造科学の研究において、将来、その実験的・理論的研究の最先端を担い、この研究分野の発展に貢献しうる優秀な人材を養成する事を、主な目的とする。上記量子ビームと物質との相互作用に関する学理を基礎とし、生命体を含めた物質構造科学について、広い視野から教育・研究指導を行う。また、量子ビーム発生原理とその装置、ビームの回折、散乱、分光の原理とその装置について、教育と開発研究の指導を行う。これらの教育・指導を通して、量子ビームを用いた物質構造科学は元より、関連する科学の諸分野を将来発展させる能力を有する人材を養成する。

詳しくは <http://www.kek.jp/sokendai/> を御覧ください。

那須 (Tel 029-864-5588, e-mail : knasu@post.kek.jp)

平成17年10月5日

関係機関の長 殿
関係各位

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 小 間 篤(公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について(依頼)

本機構では、下記のとおり特定有期雇用教員として、博士研究員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研05-8

- 1 公募人員
博士研究員(常勤) 若干名 (任期は単年度契約で3年まで延長可能)
- 2 研究(職務)内容
放射光科学研究施設において、放射光を用いた分光、回折、散乱現象を利用した基礎・応用分野の実験的研究、研究手法の開発および関連する理論的研究を内部スタッフと協力して推進する、意欲のある研究者を若干名募集する。
- 3 応募資格
着任時において博士号取得後10年以内である者
- 4 公募締切
平成17年12月2日(金)
- 5 着任時期
平成18年4月1日
- 6 給与
基準年俸額 3,960,000円(事業年度途中で採用された場合は、採用時期に見合った額)および、通勤手当
- 7 選考方法
原則として面接選考とする
- 8 提出書類
 - (1) 履 歴 書 —— 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。
 - (2) 研 究 歴
 - (3) 着 任 後 の 抱 負
 - (4) 発 表 論 文 リ ス ト —— 和文と英文は別葉とすること。
 - (5) 論 文 別 刷 —— 主要なもの3編以内
 - (6) 本人に関する推薦書または参考意見書

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、それぞれ別葉にすること。
なお、各葉に氏名を記入すること。
- 9 書類送付
送付先 〒305-0801
茨城県つくば市大穂1-1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部人事労務課人事第二係
封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。
- 10 問い合わせ先
 - (1) 研究内容等について
研究主幹 野村 昌治(放射光科学第一研究系) TEL 029-864-5633(ダイヤル)
研究主幹 河田 洋(放射光科学第二研究系) TEL 029-864-5634(ダイヤル)
 - (2) 提出書類について
総務部人事労務課人事第二係 TEL 029-864-5118(ダイヤル)

人事異動・新人紹介

予 定 一 覧

2005 年

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 12 月 16 日 | 平成 18 年度前期フォトン・ファクトリー研究会公募締切り |
| 12 月 19 日 | PF-AR 平成 17 年度第二期ユーザー運転終了 |
| 12 月 26 日 | PF 平成 17 年度第二期ユーザー運転終了 |

2006 年

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| 1 月 7 日～9 日 | 第 19 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム（名古屋大学） |
| 1 月 20 日 | PF-AR 平成 17 年度第三期ユーザー運転開始 |
| 1 月 23 日 | PF 平成 17 年度第三期ユーザー運転開始 |
| 3 月 20 日 | PF, PF-AR 平成 17 年度第三期ユーザー運転終了 |
| 3 月 23 日～24 日 | 第 23 回 PF シンポジウム |

最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> でご覧下さい。